

放課後子ども教室NEWS

放課後子ども教室協働活動サポーター研修会 ～下郷町～

10月24日(火)、下郷町において「放課後子ども教室における子どもの実態とスタッフの関わりについて」をテーマに、放課後子ども教室協働活動サポーター研修会が行われました。

講 義

発達障がいの特性と支援の実際について

パネラー 会津児童相談所南会津相談室 主任心理判定員 三輪 佳那子 氏
下郷町役場健康福祉課健康係 保健師 星 美彩 氏
福島県教育庁南会津教育事務所 指導主事 渡邊 朋子

3名のパネルディスカッションにより、特性をもつ児童と支援のポイント、町の実態について学びました。

<参加者感想より>

- 時間を決めて伝えること、特性とは誰でも持っていることを再度頭に入れて、接したいと思います。
- 怒ることだけではなく、ほめることも子供たちには大切でした。
- 頭では理解できるが、現実に向き合うと対応が難しいと感じることが多々ある。



演 習

放課後子ども教室での環境づくりや言葉かけの仕方

放課後子ども教室におけるルールの明確化や環境づくりなど具体的な取組について話し合いました。

<参加者感想より>

- こんな話し合いが日常的に行われるとよいと思いました。
- 学校側から放課後子ども教室の指導員への引き継ぎ事項として「児童の特性」があってもよいかと思いますがいかがでしょうか。
- 指導員同士の共通ルールは同じ方向を向いているか。



各地区の放課後子ども教室を訪問すると、子供との関わり方について悩むサポーターの方が多いようです。今回の研修では、サポーター相互の悩み相談に留まらず、それを解決するためのルールの明確化や環境づくりについて、3地区それぞれの子ども教室での実践も出し合いながら考える様子が見られました。

普段の子ども教室においても、スタッフ同士の情報共有やよりよい子供たちの放課後環境をつくっていくためのアイデアの出し合いなどの時間を充実させていけるとよいですね。